

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090300266		
法人名	社会福祉法人 敬老園		
事業所名	グループホームかわべちよう敬老園		
所在地	長野県上田市上田原二ノ口854-2		
自己評価作成日	令和5年1月18日	評価結果市町村受理日	令和5年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成26年4月開設のグループホームです。1階が小規模多機能居宅介護2階がグループホームとなっています。上田市の中心地から車で10分程度の所に位置し周りに烏帽子や太郎山などの山並みを望む事ができます。夏は千曲川のほとりで開かれる上田花火大会をベランダから楽しむ事ができます。今年度も、コロナ禍の影響で開催できませんでしたが、毎年納涼祭や敬老会等の行事はかわべちよう敬老園の行事としてグループホーム、小規模多機能が協力して開催し、利用者、ご家族、地域の方との交流の場となっています。また今年度もコロナ禍の影響で受け入れを中止しておりますが、ボランティアの関わりも大切にしており、体操、ハンドマッサージ、傾聴のボランティアの受け入れを行い、交流を深めていました。現在は、外出制限がありますが、毎年季節の外出や個別外出、行事も大事にしております。コロナ禍のため、グループホーム内のイベントを充実させたり、手作りおやつや希望献立も取り入れて、楽しんで生活して頂けるよう支援しています。今後も法人とかわべちよう敬老園の理念のもと、ご利用者おひとりお一人の気持ちを大事に生き生きと生活をしていただくことができますように、チーム皆で明るく笑顔で学び考えながらケアにつなげていきたいと考えております。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kanji=true&JijigyouCd=2090300266-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和5年2月10日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

上田市を北へと流れる千曲川の西側、上田市上田原の住宅地に2階建ての複合施設があり、1階が小規模多機能型居宅介護事業所でその2階が当ホームとなっている。開設からこの4月で9年目に入ろうとしており、3年間に及ぶ新型コロナ禍の中、平均介護度が2.33と比較的自立度が高い利用者や職員が、開設よりの「家庭的」「地域住民との交流」「その人らしい生活」というキーワードが盛り込まれたホーム理念の下、外出や地域の人々との交流などに制約を受けながらも季節に応じたメリハリのある暮らしを共に送っている。新型コロナ前、例年であればホームの納涼祭や防災訓練に地域住民が参加したり、地域の祭りや文化祭に利用者と共に参加するなど地域との関わりが密に持たれているが、この数年は新型コロナ禍で活動が休止されている。そうした中、ホームでは従来から取り組んでいる「食」を充実しており、ホームのベランダでキュウリやミニトマトなどを栽培し収穫したものを食材に使用したり、季節ごとに干し柿作りや繭玉作り、七夕の流しそめんなどの調理レクリエーションなども行い、寿司やカツ丼等をテイクアウトして提供するなど、食を楽しむ機会を多く作っている。グループホームは利用者の家であり生活の場で、あくまでも利用者一人ひとりの暮らしが原点であるといわれている。当ホームでは多くの利用者が自分の意見や思いを表出することができ、職員は日々の関わりの中で傾聴し必要に応じてスタッフ会議で共有し思いに沿うようにしている。利用者一人ひとりの自分の考えを尊重し自分の生活をつくっていくようにし、元気なときも元気がないときも、得意なことでも苦手なことでも、利用者のありのままの姿が出せる「暮らしの場」として職員が支援し利用者満足に繋げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		